

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	青少年課長	瀬谷 公重
こども-28	実施事業	子ども会館・子どもの家管理運営事業	■ 自治事務	主管課 青少年課
			□ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対象	市内に居住する乳幼児・小中学生等	<ul style="list-style-type: none"> ・西鎌倉子ども会館及び岩瀬子ども会館を閉館し、子ども会館、子どもの家関連条例改正等の必要な事務手続を行った。 ・放課後かまくらっ子やまさきの開始に伴い、外壁塗装及び内装の修繕を行った。 ・おさか子どもの家について敷地と隣地(宅地)の間に設置されているブロック積塀の改修を行った。 ・放課後かまくらっ子おふなの開始に伴い、クロス貼替等の修繕を行った。 ・放課後かまくらっ子うえきの開始(令和2年6月開始予定)に伴い、鎌倉市立植木小学校の教室を用いて事業を行うことから、使用予定の教室について空調機の取替修繕を行った。 ・深沢子ども会館については、リース契約期間満了に伴い、所有権を取得した。 ・放課後児童支援員派遣業務委託を締結し、人員の確保を行った。
意図	子どもに健全な遊び場を提供し、心身の健やかな育成を図るほか、居宅内労働を含む就労等において保護者が昼間家庭にいない児童に対して、家庭的な支援を行うため。	
効果	心身ともに健やかな成長を図る。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		データ区分	02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	事業の対象者数	・各年3月31日(住民基本台帳) ・事業の対象者0～15歳
運営資源状況	事業の対象者数	22,189人	21,943人	21,943人	—	—	—	
	決算値(千円)	447,062	384,170	384,170	—	—	—	
	国県支出金	179,224	152,440	152,440	—	—	—	
	地方債	—	—	—	—	—	—	
	その他	48,643	—	—	—	—	—	
	一般財源	219,195	231,730	231,730	—	—	—	
事業経費運営	人員配置数	2.4	2.4	2.4	—	—	—	
	人件費(千円)	19,698	20,748	20,748	—	—	—	
	総事業費(千円)	446,769	404,918	404,918	—	—	—	
	市民1人当りの経費(円)	2,647	2,295	2,295	—	—	—	
	対象者1人当りの経費(円)	21,036	18,453	18,453	—	—	—	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input checked="" type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 令和2年度予算は「放課後子ども総合プラン等管理運営事業」へ移行。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後かまくらっ子の市内全校での実施に向け、施設の修繕、整備を進めている。 ・令和2年度からは「放課後子ども総合プラン等管理運営事業」として事業を継続していく。 	

<p>令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童の解消を図るためには、利用定員の増員が必要があるが、職員の安定的な確保及び施設の増床には限界があるため、放課後子ども総合プランへの移行や民間事業者への活用が必要である。 子どもの家について、安定した管理・運営を行うためには、公設公営から指定管理への転換についても引き続き検討が必要である。 所在する小学校区で放課後かまくらっ子を実施することに伴い、西鎌倉子ども会館及び岩瀬子ども会館を閉館するが、代替施設の検討、決定後の周知等丁寧に行う必要がある。
<p>課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども総合プラン(放課後かまくらっ子)を新たに7カ所で開所し、待機児童の解消に努めた。 放課後かまくらっ子の開所にあたっては、7カ所のうち5カ所で指定管理制度を導入し、職員の確保等、安定的な管理運営に努めた。 西鎌倉子ども会館及び岩瀬子ども会館の閉館にあたり、今後の活用方針について庁内関係部局等と調整、協議を行った。 <div style="float: right;"> <input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決 </div>
<p>未解決の課題、新たな課題とその理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> 閉館した西鎌倉子ども会館及び岩瀬子ども会館の今後の活用方針を庁内関係課と検討していく。

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	直営の学童保育施設数(令和元年4月1日時点)								
団体名	鎌倉市	逗子市	茅ヶ崎市	藤沢市	平塚市	大和市	厚木市		
他市実績	5施設	0施設	0施設	0施設	0施設	17施設	23施設		

<p>当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方</p>	<p>学童保育施設は概ね小学校区ごとに設置されており、直営の学童保育施設数が少ない自治体は、指定管理者制度や委託で運営している。</p>
-----------------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	子どもの家登録者数	単位	人	指標の傾向	↘	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	H29以降は指定管理施設を含む
放課後かまくらっ子の実施に伴い、子どもの家(学童保育)のニーズ量を確保することができるため。地域子ども・子育て支援事業のニーズ量見込みについて、2018年に見直しを行っている。	目標値	-	1,691	1,673	1,686	-	-	
	実績値	1,355	1,649	1,719	1,765	1,577	1,463	
	達成率	-	97.5%	102.7%	104.7%	-	-	

<p>当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童を解消するため、放課後子ども総合プラン(放課後かまくらっ子)実施校を増やしていく。 放課後子ども総合プラン(放課後かまくらっ子)への移行により、子どもの家登録者数は減少する。
------------------------------	--